

外来担当医表 (令和5年4月予定)

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	しろ の たか お 城野 孝夫	担当医	—	こ やま ゆ き 小山 友季
循環器内科	担当医	まつ き あゆみ 松木 あゆみ	かた やま あき こ 片山 彬子	松木 あゆみ	まつ お りょう へい 松尾 龍平
循環器内科 午後(予約)	—	松木 あゆみ	—	ふく い けん すけ 福居 顕介	—
一般内科	けい ら なつ や 計良 夏哉 (第1・3・5週) き むら たい こう 木村 兌弘 (第2・4週)	き むら ふみ こ 木村 史子 し むら ゆう じ 志村 勇司 (予約のみ)	松尾 龍平	まつ もと よう すけ 松本 洋典	木村 史子
神経内科	—	—	—	—	ふじ の ゆう ぞう 藤野 雄三
糖尿病内科 (予約)	—	やま もと しん た 山本 慎大	きた がわ のり ゆき 北川 功幸	北川 功幸	はま ぐち まさ ひで 濱口 真英
ペースメーカー 外来	—	—	—	—	松木 あゆみ (偶数月の第3週)
皮膚科	—	—	なか にし ま り 中西 麻理	—	た うら まい こ 田浦 麻衣子 (9時30分診察開始)
泌尿器科	—	担当医	—	担当医	—
外科1診	い むら けんいちろう 井村 健一郎	担当医	た なか ひろ き 田中 宏樹	よし い かず ひろ 吉井 一博	井村 健一郎
外科2診	おお もと よう こ 大本 陽子 (乳腺)	わた なべ あきら 渡邊 陽 (乳腺)	—	—	—
外科 午後(予約)	大本 陽子 (乳腺)	—	田中 宏樹 (乳腺)	担当医	—
麻酔科 (ハ [^] インクニック)	はし もと とも こ 橋本 朋子	—	—	—	橋本 朋子
眼科	みや たに たか ふみ 宮谷 崇史	担当医	—	宮谷 崇史	—
整形外科1診	く ぼ やす おみ 久保 恭臣	玉井 和夫 (予約)	なか せ まさ し 中瀬 雅司	久保 恭臣	中瀬 雅司
整形外科2診	かま だ よういちろう 鎌田 陽一郎	鎌田 陽一郎	鎌田 陽一郎	—	—
整形外科3診	たま い かず お 玉井 和夫	なり た わたる 成田 渉	—	—	—
小児科	てら まち しん じ 寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二
小児科 午後(予約)	寺町 紳二 (循環器)	寺町 紳二 (予防接種)	寺町 紳二 (予約外来)	寺町 紳二 (循環器・アレルギー)	寺町 紳二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/>



JR馬堀駅から徒歩約5分/
京都縦貫道篠インターから車で約5分/
駐車(輪)場有

UD FONT
亀岡市立病院広報誌「桔梗」は
ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

Vol.32

2023.3 発行



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会
〒621-8585
京都府亀岡市篠町篠野田1-1
TEL 0771-25-7313
FAX 0771-25-7312
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
新型MRIの導入について	2.3
亀岡市立病院健康講座 (認知症予防について)	4.5
当院からのおしらせ	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8



亀岡市立病院広報誌

ごあいさつ

厳しかった今年の冬の寒さも緩み、暖かな日差しに春の訪れを感じる季節となりました。

皆さまにおかれましては、ますますご清祥のことと存じます。日頃は、亀岡市立病院の運営につきましてご理解とご協力をいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症との対峙は2019年に始まり4年目にして、ようやく終息を迎えようとしています。政府は、感染症法上の位置付けを5月8日から季節性インフルエンザと同等の5類に移行することを正式に発表しました。長かったこれまでを思うと、一言では言い表せない思いがよみがえってきます。感染が拡大する中、入院・外来を問わず患者さまに感染対策へのご協力をお願いし、職員に対しては公私にわたる厳しい自粛を課してきました。大きな支障を来すことなく医療を継続して来られましたことは、患者さまと職員の協力に他ならず、心から感謝申し上げます。

感染症法上の変更は、新型コロナウイルス感染症が、私権の制限を上回る脅威ではなくなったことを意味し、これからの対応は、基本的には個々の判断にゆだねられることが多くなります。医療従事者として、正しい知識に基づき皆さまの健康に寄与すべく、今後は政府の方針に従い病院の体制を整えて参ります。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、かねてより準備を進めてまいりました、訪問看護ステーションの開設をご報告いたします。コロナ禍にも関わらず地域の訪問看護ステーションをはじめ、多くの皆さまのご助言を賜り4月1日に開設の運びとなりました。心から御礼申し上げます。亀岡市立病院訪問看護ステーションが、地域の皆さまから信頼され、必要とされるステーションとなるように職員一同、より一層精進してまいります。

これからも、亀岡市立病院に温かいご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



副院長兼看護部長 後藤 ヨシエ

Kameoka municipal hospital

新型MRIの導入について

当院のMRI装置が新しくなりました!!

開院以来使用してきたMRI装置が、今年の2月よりキャノンメディカルシステムズ社製 1.5 テスラ超電導磁石式全身用MR装置 Vantage Fortian という機種に更新いたしました。

Vantage Fortian

質の高い検査を日常に。



MRIとは、非常に強い磁場と電波を利用して人体のあらゆる角度の断面を画像化する検査です。磁場と電波を利用しており、レントゲンやCTのように放射線を使っていないので放射線被ばくがありません。

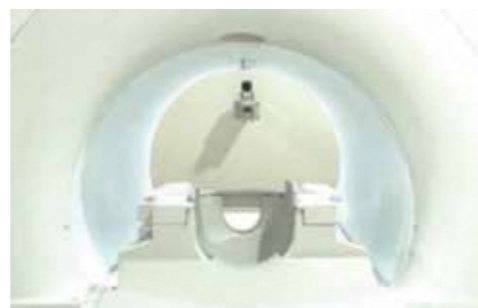
MRI検査は圧迫感のある狭い空洞の中で検査を受けなくてはなりません。以前の装置は60cm口径だったのが、今回導入した新型装置は71cmと大口径となっています。これにより、体格の大きい方や腰の曲がった方にも楽な姿勢で検査を受けていただくことが可能となりました。また、一般的なMRI装置は検査中に装置内部のコイルが振動することで、工事現場のような非常に大きな騒音が発生します。

今回導入したMRI装置は騒音発生源であるこのコイルを密閉封入することで検査時の音が低減され検査を受ける患者さまにやさしくなりました。

また、室内はLED照明で明るい検査環境となりました。



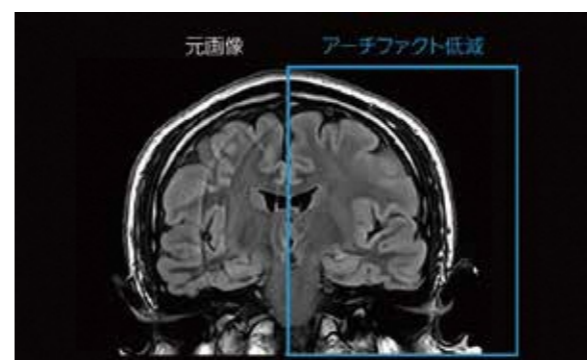
71cmの大口径



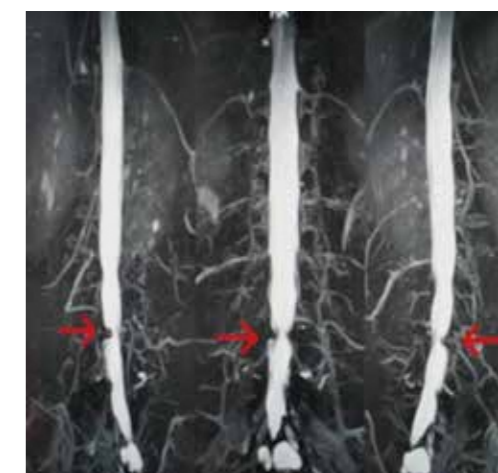
トンネル内を明るく照明

MRI検査は他の画像診断装置に比べて非常に検査時間が長く、検査時間を短くすれば画質が低下し診断に影響します。検査時間が長いため検査中の体動による画像の動きにより再撮像を繰り返し、さらなる検査時間の延長を余儀なくされることもあり、以前のMRI装置で短時間・高画質を両立することは困難でした。

1982年に日本国内の病院で最初に診療用MRI装置が導入されて以来、約40年、MRI装置も飛躍的に進歩してきました。今回導入した装置は、現在大きな脚光を浴びているAI技術で、全身のあらゆる部位(頭部・脊椎・乳房・腹部・骨盤・関節)で高精細画像と高速撮像が可能です。それによって高画質で撮像ができ、検査時間(以前の1/2~1/3)の短縮や体動の補正、呼吸による動きの補正も可能となりました。



体動補正前↑ 補正後↑



腰椎MRミエログラフィー
(椎間板ヘルニアによる圧排像)

当院はAI技術を搭載した新型MRI装置を導入したことで、地域の先生方にもご活用していただき、患者さまに安心して検査を受けていただけるように、放射線技術科スタッフ一同、質の高い医療の提供を心がけていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

検査を受ける際のお願い



- ✓ MRI検査を受けられる方は、金属類の吸着防止のために、検査着に着替えていただきます。
- ✓ 体内に心臓ペースメーカー、古いタイプの脳動脈クリップなど金属が埋め込まれている方は検査ができません。
- ✓ 金属類、磁気カード、その他(義歯、補聴器、カラーコンタクト、機能的肌着、ジェルネイル、ラメ入りメイク、カイロ等)は持ち込みできません。
- ✓ その他、ご不明な点は、主治医または看護師にお尋ね下さい。
(放射線技術科 和久 隆)

認知症看護認定看護師 工藤 咲映 患者支援センター 藤井 規子



2019年末より新型コロナウイルスの拡大が今もなお続いています。特に高齢者は、新型コロナウイルスに感染すると重症化リスクがあることから、多くの高齢者は外出を控えるようになりました。その結果、他者との交流が減ったり、歩行する機会が減ることによって筋力の低下を招くなどの問題が出てきています。

最近、新型コロナウイルスに感染したあとに、認知機能への影響を及ぼすことが研究結果で明らかになってきています。「ブレインフォグ(脳の霧)」と呼ばれる症状があり、これは、脳に霧(もや)がかかったかのようにぼんやりとして、集中力の低下や疲労・倦怠感、記憶障害などを招きます。詳しいことはまだわかっていませんが、新型コロナウイルスの感染によって、脳がダメージを受けた可能性が指摘されています。

この症状は、年齢や性別を問わず発症するともいわれています。この症状に対する治療法はまだ確立していません。まずは、新型コロナウイルスに感染しないように予防していくことが大切ですが、今回は、「コロナ禍でもできる認知症予防」をテーマにお話をしたいと思います。



1つめは...

「運動」です。

感染対策を行いながら、お散歩をして、日の光を浴びることで、生活にメリハリがでてきます。

もし、お散歩が難しければ、家の中でもできる運動として、スクワットや椅子から立ち上ったり座ったり、座った状態で足を持ち上げたり下げたりする運動があります。



3つのこと

認知症予防のために
行いたい!!

2つめは...

「知的活動」です。

言い換えると、頭を使ったり、指を使ったりすることです。

例えば、日記を書いたり、歌を歌ったり、パズルや短歌・俳句などがあります。



3つめは...

「会話、コミュニケーション」です

コロナ禍では、直接会ってお話しすることは難しいので、電話やテレビ電話もよいですね。



いずれも大切なことは、楽しんで行うことです。運動習慣だけでなく、生き甲斐や目的をもって活動をするほうが、認知症の発症リスクが下がり、発症後の進行も緩やかになるといわれています。

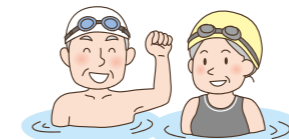
新型コロナウイルスが流行し、外出の機会、他者との関わりが少ない今こそ、生活にメリハリをつけ、家庭内での会話を増やして、楽しく認知症予防を行っていきましょう。

認知症予防や更なる認知症進行予防のためにも、「運動」「知的活動」「会話・コミュニケーション」が大切だとおわかり頂けた

と思いますが、亀岡市でもさまざまな活動や制度があるため、実際に活用して健康増進や認知症予防に努めていけたらと思います。

当院でもコロナ流行まで、入院されている認知症患者さんや高齢患者さんに向けて、レクリエーションの開催をしていましたが、感染対策上、大人数や不必要な接触をさけるために、現在は、レクリエーションを中止しています。

長期化する入院生活や、環境の変化などで認知症症状の出現や増悪もみられていることもあり、地域で過ごす皆様におかれましては、健康で過ごす事、また、認知症予防に努める事も大切だと思われま



亀岡市の取り組み (亀岡市 健康増進課)

①介護予防

- 〈1〉元気アップ講座
- 〈2〉高齢者体力測定会



②認知症関連

- 〈1〉かめおか認知症カフェ「みのり」
- 〈2〉認知症高齢者等の事前登録制度

介護保険事業の利用

- ①お住まい地区の地域包括支援センターへ相談
- ②介護予防サービスの利用を検討
 - 介護予防訪問リハビリ、介護予防通所リハビリなど



これら以外にもその他、さまざまな事業や支援がありますので、是非、元気に楽しく認知症予防をしていきましょう!!

令和5年
4月



亀岡市立病院 訪問看護ステーションを開設します!!



現在みなし訪問看護として
外来から訪問看護に出ています!!

- 通院が難しくなってきた方
- 自宅で医療処置が必要な方 など



令和5年
4月からは

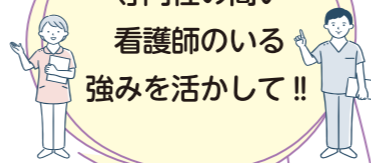
訪問看護ステーションへ!!

24時間対応可能な体制をとり、
さらに利用しやすい
ステーションをめざします!!

病院併設
ステーションという
強みを活かして!!



専門性の高い
看護師のいる
強みを活かして!!



創造し



学び



深化し
続ける看護



育み

「みなさまどうぞよろしくお祈りします」

亀岡市立病院訪問看護ステーション 電話 0771-56-9825 / FAX 0771-56-9823

亀岡市立病院訪問看護ステーション

当院は京都サンガF.C.を応援しています!

亀岡市は京都サンガF.C.のホームタウンです。
当院にも応援コーナーを設置し、チームの情報を発信しています。
職員も試合に合わせてTシャツを着るなど、今シーズンもJ1で
戦う京都サンガF.C.に熱いエールを送っています!!



地域連携医のご紹介

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

整形外科 あんどうクリニック

院長：安東 慶治

住所：〒621-0815
亀岡市古世町1-48-9

TEL：0771-29-1173

診療科目：整形外科

診療時間：午前 9:00~12:00 (月・火・木・金・土)
午後 5:00~ 8:00 (月・火・水・木・金・土)
休診/水曜日午前・日祝日

医院より一言



2020年12月に古世町1丁目(アミティシヨピングセンター前)に整形外科あんどうクリニックを開業させていただきました。
地元ではない亀岡市を選ばせていただいたのは、開業準備時に色々な縁が重なり、この地域の整形外科治療に対してお役に

立てるのではと判断したからです。新型コロナ感染が拡大するなかの船出となりましたが、次第に多くの患者様にきて頂けており、お役に立てて嬉しいかぎりです。

当院では、肩こり、腰痛、変形性関節疾患、外傷(交通事故を含む)、骨折などの一般整形外科、骨粗鬆症、リハビリテーションを中心に診療を行なっています。

特に骨折や変形の原因になる骨粗鬆症に対して、予防治療に積極的に取り組んでいます。症状が表れない疾患で、治療を継続のモチベーションを維持すべく、骨塩定量測定装置を院内に設置し、血液検査による骨代謝マーカーを利用して、骨粗鬆症の程度、原因に合わせて治療選択、定期的な検査で効果判定、副反応の観視を行っています。

又、常勤の理学療法士が3人おり、外傷や手術後の運動機能改善の為にリハビリテーションを充実させております。ご希望があれば是非お尋ね下さい。

亀岡市立病院の職員の方には、平素より病診連携でお世話になっており感謝しております。今後もよろしくお祈りします。



編集後記

桜のつぼみもふっくらと、春色の深まりを感じる頃となってまいりました。

亀岡市立病院は2004年6月に開院し、あっという間に19年が経ちます。日々病院事業にご尽力くださっている皆さま、ならびにご愛読頂いている皆さまのおかげです。本当にありがとうございます。

さて、MRIの入れ替えも終わり、より詳細な検査・評価ができるようになりました。院内のみならず、どんどん使って診断に役

立たせてください。

また、訪問看護ステーションは4月に開設されます。利用者のニーズに応えられるよう、今後に期待したいですね。

最後に、来年度の広報誌も頑張りますので楽しみにしててください。

広報委員会 織田 史雄
(リハビリテーション科)

市立病院公式Facebookはこちらから!
(ぜひページ・記事への「いいね!」をよろしくお願いします!)

